

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年4月15日 NO.6 (206)



富士見台団地西のバス通り

オー君 「あーあ・・・サクラの花も散ってしまったな。つまないな。」

花ちゃん 「そうかな。そんなことないと思うけど・・・。」

オー君 「それって、どういうこと？」

花ちゃん 「サクラは散ったけど、これからもいろいろなお花がいっぱい咲くわ。」

オー君 「え？どこに咲いているの。どこ？どこ？」

花ちゃん 「ねえ、オー君。上の写真を見てどこかわかる？」

オー君 「あ！これは、富士見団地の西側だ。バス通りだ。」

花ちゃん 「そうね。ここもサクラが咲いていたけど・・・ねえねえオー君！サクラの木の下をよーく見て！何か咲いているでしょ。」

オー君 「白くて大きなレースのような花だね。」

花ちゃん 「そうね。ニワトリの大きなとさかがダンスしているみたいね。」

オー君 「花びらはフリルにそっくりだし、パステルカラーのようにいろいろな色があって、なかなかきれいな花だね。」

モンタ博士 「ほほー。なるほど。レースのようだとか、ニワトリのとさかみたいとか、フ

リルにそっくりとか、二人^{ふたり}ともとてもよく観察^{かんさつ}できているね。花^{はな}の様子^{ようす}をな
にかにたとえたりするのは、とてもよく見て^みいるということだよ。感心^{かんしんかんしん}感心。」

オー君 「あ！モンタ博士^{はかせ}。いつのまに……。そうだ。この花^{はな}なんていうの。」

モンタ博士 「そうだね。花^{はな}の名前^{なまえ}ならきっと花ちゃん^{はな}が知^しっているよ。」

花ちゃん 「はい。これは『シャガ』という植物^{しょくぶつ}です。」

モンタ博士 「そうだね。この『シャガ』は、バス通り^{どお}はもちろん、『ハケ』の近く^{ちか}でもた
くさん見^みることができるんだ。それから、この花^{はな}を見たら、しゃがんでね。」

オー君 「そうか！『シャガ』だから『シャガ』むんだ。そうでしょ。モンタ博士^{はかせ}。」

モンタ博士 「ピンポーン、そのとおりでーす。」

花ちゃん 「モンタ博士^{はかせ}！だじゃれですね。」

モンタ博士 「そのだよ。植物^{しょくぶつ}の名

前^{まえ}なんてたのしみなが

ら覚え^{おぼ}ればいいのさ。

他^{ほか}にも、たけいから

(高^{たか}いから) タケ (竹^{たけ})

とか、ホオノキがあっ

たら、ホオー！とかね。

まだまだいろいろあるけど、

またそのうちね。シャガは

一つ^{ひと}一つ^{ひと}の花^{はな}も大きくてき

れいだけど、写真^{しゃしん}みたい

たくさん集^{あつ}まってもなかな

かステキでいいものだね。」



シャガ
(アヤメ科)

シャガのつばやき

わたしはシャガでーす。葉っぱは艶があり平たくシャープな感じでしょ。よく見ると、剣のようなので、難しい植物用語で『剣状葉』といって、アヤメ科の植物の特徴でもあるのよ。私は花がきれいで派手な感じなので、園芸種であると思っている人もいるでしょうが、残念でーす。実は帰化植物で、かなり昔に中国から伝わってきたものと言われているの(史前帰化植物)。それから私は、種ではなくて根をあちこちに伸ばしては増え続けるのよ。私は日向でも日陰でもどちらでもよく育つのよ。アスファルトだって突き破るくらいに元気なんですからね。そのど根性を見込んで、森田校長先生は、体育館の西側の軒下に100株くらい植えたそうです。なお、学名では *Iris japonica* (アイリス ヤポニカ) といいますが、アイリスとは虹という意味なのね。つまり、『日本の虹』ということになるのよ。